

Ⅲ 一～五類全数把握感染症

一～五類全数把握感染症

1. 一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

2. 二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

結核については、下記ホームページを参照されたい。

(財) 結核予防会結核研究所 疫学情報センター <http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/>

(文責：本村)

3. 三類感染症

●コレラ

1例の届出があり、推定感染地域はフィリピンであった。

●細菌性赤痢

届出数は7例あり、このうち輸入例は1例で推定感染地域はインドであった。患者の症状は、全例で下痢が認められたが血便は1例だけであった。5例で発熱が、4例で腹痛がみられた。

●腸チフス

3例の届出があり、推定感染地域はインド、パキスタン、ミャンマーで、患者は高熱、比較的徐脈、脾腫、下痢、意識障害を呈した。

●パラチフス

届出数は3例で、このうち輸入例は2例で推定感染地域はインドネシアと中国であった。国内発生例は、高齢の胆石保有者であった。症状は高熱、比較的徐脈、脾腫、下痢であった。

コレラ

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
大阪府																										
大阪市																										
堺市																										
高槻市																										
東大阪市																										
豊中市																										
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細菌性赤痢

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
大阪府																1	1									
大阪市										1			1													
堺市																										
高槻市																										
東大阪市																										
豊中市																										
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

腸管出血性大腸菌感染症

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府		1							1			1		1	1				2	5	2	1	3	6	1	2	2
大阪市			1												2					1				3		1	1
堺市										2	2		1											1	1	1	
高槻市	1		1														1				1						
東大阪市																											
豊中市																											
合計	1	1	2	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	2	3	0	0	1	2	6	3	1	3	10	2	4	3

腸チフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

パラチフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府								1																			
大阪市																1											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計	
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週
	1																								1
																									0
																									0
																									0
																									0
																									0
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計	
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週
							1																		3
			1							1															4
																									0
																									0
																									0
																									0
0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計	
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週
2	2	3	1		2	10	2	3	4	1	2				2	1	4		2	1		1	1		73
1	2		1		9	7	6	4				2	2	1											44
				1	1	3	3	1	5	1	1	1				2									27
		1	1																						6
					3		1		1					1	2				1					9	
3				1	1	1					1													7	
6	4	4	3	2	16	21	12	8	10	2	4	3	2	1	3	5	4	0	3	1	0	1	1	0	166

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計	
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週
													1												1
														1						1					2
																									0
																									0
																									0
																									0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計	
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週
																				1					2
																									1
																									0
																									0
																									0
																									0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3

●腸管出血性大腸菌感染症

患者109例、無症状保菌者57例の計166例が診断され、例年どおり夏期に多発していた(図1)。HUS患者は6例(有症者の5.5%)で、0～4歳が2例、10歳代が2例、20歳代が1例、70歳代が1例であった。感染者数10名以上の集団発生はなかった。感染者は0歳～10歳代が多かったが、有症率は男性で高い傾向があった(図2)。

図1 腸管出血性大腸菌感染症 週別発生状況 2017(平成29)年 1～52週

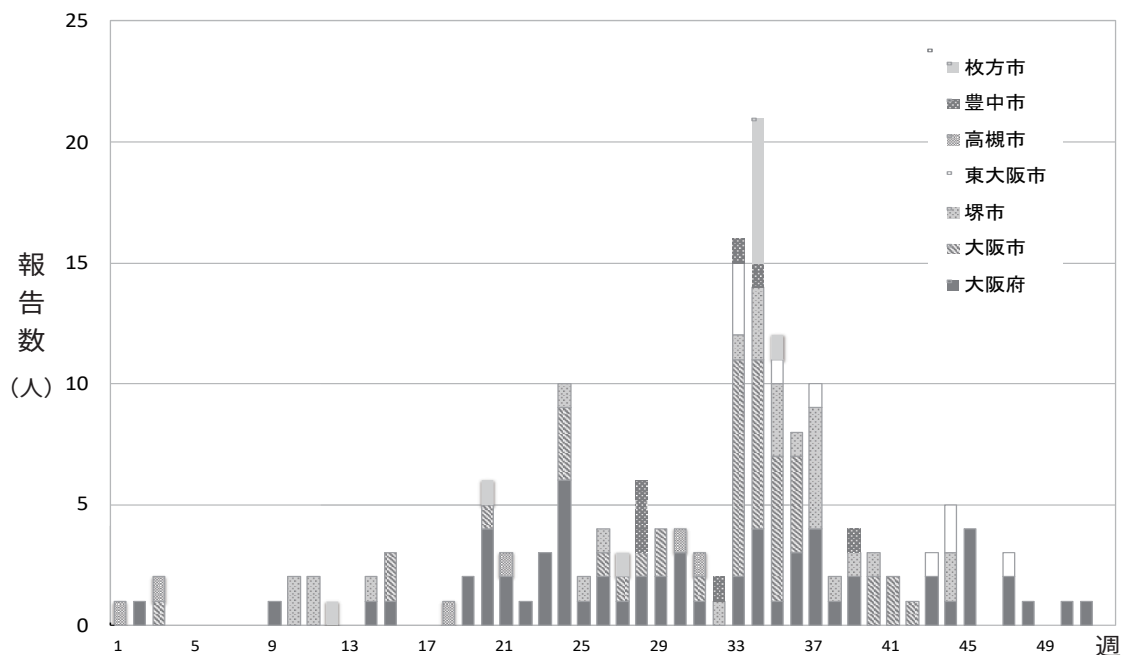
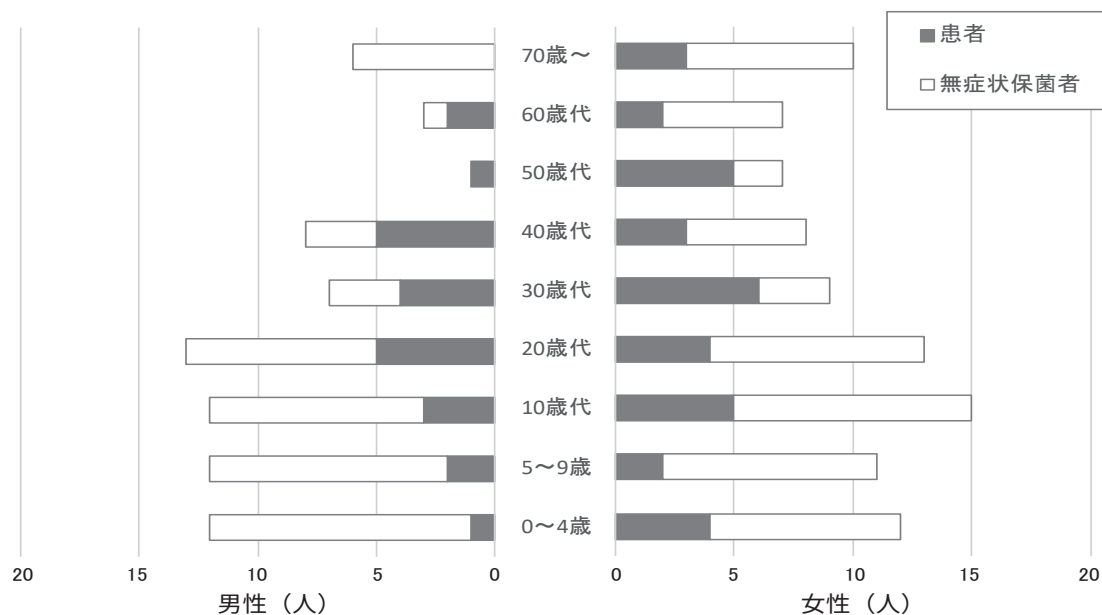


図2 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別発生状況 2017(平成29)年 1～52週



(文責：河原)

4. 四類・五類感染症（全数把握分）

2017（平成 29）年、大阪府における四類・五類感染症の届出数は、29 疾患 1,909 例であった。2016（平成 28）年の 30 疾患 1,662 例に比べて 1 疾患減少し、届出数も 247 例の増加であった（表 1）。

四類感染症の届出数は 9 疾患 139 例であった。報告疾患数 9 疾患は前年と変わらないが、前年届出があったレプトスピラ症について報告がなかった（表 1）。一方、今まで、届出がなかった重症熱性血小板減少症候群が初めて検出され、1 例の報告があった。四類感染症の届出数は 18 例（11.5%）減少してした。減少した疾患のうち、A 型肝炎は 12 例の届出があり、前年に比べ 9 例（47.8%）の減少であった。また、デング熱は 21 例の届出があり前年の 36 例に比べ 15 例（41.7%）の減少であった。増加した疾患のうち、E 型肝炎は 10 例の届出があり前年の 7 例に比べ 3 例の増加であった。レジオネラ症は 83 例の届出があり、前年の 79 例に比べて 4 例の増加となった。

五類感染症の届出数は 19 疾患 1,770 例であった。前年に比べ 265 例（17.6%）の増加であった。増加した疾患のうち、梅毒は 840 例の届出があり、前年の 591 例に比べて 249 例（42.1%）の増加となった。侵襲性肺炎球菌感染症は 269 例の届出があり、前年の 203 例に比べて 66 例（32.5%）増加した。また、アメーバ赤痢は 124 例の届出があり、前年の 114 例に比べて 10 例（8.8%）の増加となった。減少した疾患のうち、麻しんは 9 例の届出があり、前年の 51 例に比べ大幅に減少した。大阪府の麻しんの発生動向については、別項で取り上げる。急性脳炎は、41 例の届出があり、前年より 48 例（14.6%）の減少となった。また、後天性免疫不全症候群は 171 例の届出があり、前年の 192 例に比べて 21 例（10.9%）の減少となった。

五類感染症で届出数の多い 5 疾患について、大阪府内を大阪府管内、大阪市、堺市、東大阪市、高槻市、豊中市に区分して再掲した。アメーバ赤痢は、大阪府管内、大阪市、堺市で増加した。後天性免疫不全症候群は、大阪市が 150 例から 133 例に、大阪府管内が 21 例から 13 例に減少していた。梅毒は、いずれの区分でも届出数が増加し、大阪府管内では 75 例が 144 例に、大阪市では 467 例が 633 例に増加し、それぞれ 92.0%、35.5%の増加となった。カルバペネム耐性腸内細菌感染症は、堺市で減少していた。また、

四類・五類全数把握感染症届出数

種別	届出数		
	疾患名		
四類	E型肝炎	10 (7)	303 (354)
	A型肝炎	12 (23)	282 (269)
	エキノкокクス症	0 (0)	26 (20)
	オウム病	0 (0)	15 (6)
	回帰熱	0 (0)	8 (7)
	Q熱	0 (0)	0 (0)
	コクシジオイデス症	0 (0)	4 (3)
	重症熱性血小板減少症候群	1 (0)	90 (60)
	ジカウイルス感染症	0 (1)	5 (12)
	チクングニア熱	2 (1)	5 (13)
	つがが虫病	2 (1)	439 (500)
	デング熱	21 (36)	245 (338)
	日本紅斑熱	6 (5)	337 (275)
	日本脳炎	0 (0)	3 (11)
	ダニ媒介脳炎	0 (0)	2 (1)
	ブルセラ症	0 (0)	2 (2)
	ポツリヌス症	0 (0)	4 (5)
	マラリア	2 (3)	61 (54)
	野兔病	0 (0)	0 (0)
	ライム病	0 (0)	19 (8)
	類鼻疽	0 (0)	1 (0)
	レジオネラ症	83 (79)	1,722 (1,592)
	レプトスピラ症	0 (1)	47 (74)
四類合計		139 (157)	3,620 (3,604)
五類	アメーバ赤痢	124 (114)	1,077 (1,133)
	ウイルス性肝炎	21 (25)	289 (273)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	138 (138)	1,634 (1,555)
	急性脳炎	41 (48)	688 (750)
	クリプトスポリジウム症	2 (1)	19 (14)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	12 (11)	198 (172)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	25 (26)	573 (492)
	後天性免疫不全症候群	171 (192)	1,374 (1,428)
	ジアルジア症	4 (6)	60 (71)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	37 (27)	370 (307)
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 (3)	25 (43)
	侵襲性肺炎球菌感染症	269 (203)	3,145 (2,693)
	水痘(入院例)	22 (28)	309 (313)
	髄膜炎菌性髄膜炎	0 (0)	- (-)
	先天性風しん症候群	0 (0)	0 (0)
	梅毒	840 (591)	5,770 (4,518)
	播種性クリプトкокクス症	8 (9)	134 (136)
	破傷風	6 (5)	124 (128)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	27 (12)	80 (61)
	風しん	10 (13)	93 (125)
	麻しん	9 (51)	189 (159)
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 (2)	28 (33)
	五類合計		1,770 (1,505)
合計		1,909 (1,662)	19,799 (18,008)

()内は2016(平成28)年のデータ

疾患名	大阪府内再掲					
	大阪府管内	大阪市	堺市	東大阪市	高槻市	豊中市
アメーバ赤痢	36 (29)	61 (58)	16 (13)	3 (5)	5 (5)	3 (4)
後天性免疫不全症候群	13 (21)	133 (150)	17 (14)	1 (3)	6 (1)	1 (3)
梅毒	144 (75)	633 (467)	26 (20)	14 (9)	15 (14)	8 (6)
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	57 (56)	30 (29)	13 (23)	6 (6)	21 (15)	11 (9)
侵襲性肺炎球菌感染症	113 (73)	102 (91)	27 (13)	9 (7)	18 (17)	0 (2)

()内は2016(平成28)年のデータ

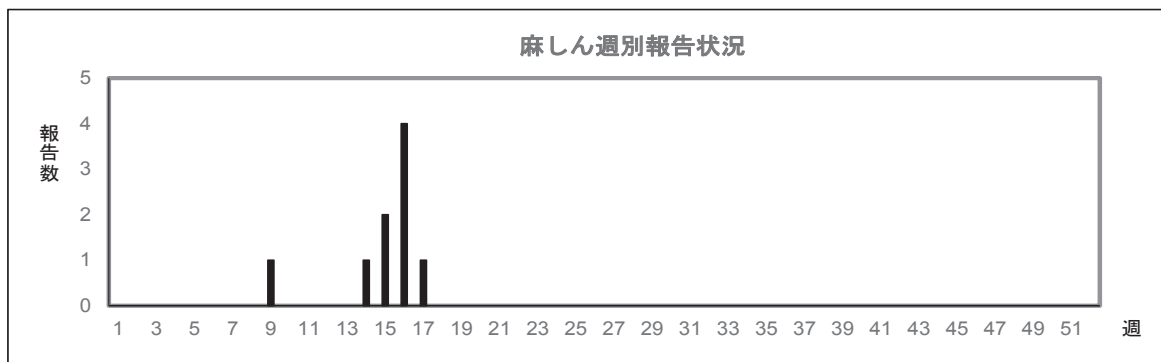
侵襲性肺炎球菌感染症は、豊中市を除いて、他の区分で増加していた。大阪府管内では73例が113例に、大阪市では91例が102例、堺市では13例が21例、東大阪市では7例が9例に、高槻市では17例が18例に増加していた。

全国の2017（平成29）年における四類・五類感染症の届出数を見ると、19,799例で前年の18,008例と比べて1791例（9.9%）の増加となっている。増加した主な疾患は、四類感染症ではA型肝炎が269例から282例に、日本紅斑熱が275例から337例に、重症熱性血小板減少症候群が60例から90例に、それぞれ増加していた。五類感染症では、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が1,555例から1,634例に、急性脳炎が511例から750例に、劇症型溶血性レンサ球菌感染症が492例から573例に、侵襲性インフルエンザ菌感染症が307例から370例に、侵襲性肺炎球菌感染症が2,693例から3,145例に、梅毒が4,518例から5,770例に、麻しんが159例から189例にそれぞれ増加している。一方、減少した主な疾患について見ると、四類感染症では、E型肝炎が354例から303例、つつが虫病が500例から439例、デング熱が338例から245例、に減少していた。大きく減少した疾患はなく、五類感染症では、アメーバ赤痢が1133例から1077例、急性脳炎が750例から688例、後天性免疫不全症候群が1,428例から1,374例に減少していた。

（文責：本村）

●麻しん

2017年(平成29)年、大阪府において、麻しんの集団発生事例はなかった。届出数は9例であり、前年の51例に比べ、減少となった。週別届出数は第16週の4例で最も多く、ついで第15週の2例であった。ブロック別では南河内ブロックが5例、泉州ブロックが2例、大阪市が1例、堺市が1例)であった。



麻しん ブロック別・年齢別報告状況

ブロック	6か月未満	12か月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	合計
豊能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北河内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中河内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南河内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
堺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
泉州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9

2015年(平成27)年3月にWHO(世界保健機関)西太平洋事務局より、日本は麻しんの排除状態にある認定を受けていたが、2016年(平成28)年は8月下旬から関西国際空港を中心、2017年(平成29)年には、山形県で自動車免許合宿で、成人による麻しんの集団発生が起きた。届出数もそれを反映したものとなっている。

海外への渡航者と海外から来日する外国人の増加に伴い、日本国内での麻しんの発生に対する注意は今後も必要であり、成人層へのワクチン接種の徹底などの対策が求められる。

(文責：本村)